

2006年まで(論文のみ)邦文

- 1.秋田宏弥*、早野俊一、黒田豊、野崎良一、楠本行彦. パラコート中毒治療法の検討. 救急医学. 8:865-868 (1984).
- 2.野崎良一*、浅井淳、石橋健次朗、西原重剛、足立尚登. Accidental profound hypothermiaの救命例—臨床像と rewarming 法について. 救急医学 9:1023-1029 (1985).
- 3.野崎良一*、上野博久、上木原宗一、早野俊一、楠本行彦. 熊本赤十字病院における最近の敗血症の動向について. 自治医大紀要 9:113-120 (1986).
- 4.野崎良一*. 流行性脳脊髄膜炎の一治験例. Prog Med 6:1084-1086 (1986).
- 5.野崎良一*、石橋健次朗、西原重剛. 最近経験した敗血症についての検討. 小児科臨床 40:3058-3062 (1987).
- 6.野崎良一*、有田哲正、白石幸明. 河浦町における腹部超音波集検成績の検討. 地域医療(国保医学会会誌) 25:36-40 (1987).
- 7.野崎良一*、上野博久、上木原宗一、早野俊一、上田恵一、楠本行彦. 敗血症と MOF (multiple organ failure) との関係について. 救急医学 11:1129-1135 (1987).
- 8.野崎良一*、有田哲正、白石幸明. ムカデ咬傷;臨床像と治療について. 救急医学 11:1043-1045 (1987).
- 9.野崎良一*、有田哲正、白石幸明. 胆汁性腹膜炎を合併した Lemmel 症候群の1例—自験例並びに本邦42例の検討—. 臨床消化器内科 2:1813-1818 (1987).
- 10.野崎良一*、早野俊一、東大弼、楠本行彦、高野信一. 胸水貯留を伴った腎周囲膿瘍の1例. 内科 61:886 (1988).
- 11.野崎良一*. 当院における B 型肝炎予防の取り組みについて—B 型肝炎ワクチン接種結果を中心にして—. 月刊地域医学 2:70-74 (1988).
- 12.野崎良一*、有田哲正. Vanishing tumor. 日本醫事新報 3349:79-80 (1988).
- 13.野崎良一*、有田哲正、白石幸明. ビンボセチン(カラン)、イデベノン(アバン)併用療法により精神症状の著明な改善を認めた脳動脈硬化症の一例. Prog Med 8:751-753 (1988).
- 14.野崎良一*、石橋健次朗、西原重剛、浅井淳. 本邦における偶発性低体温症の現況. 救急医学 12:329-330 (1988).
- 15.野崎良一*、本島昭洋、秋田宏弥、沼田裕一、赤星佳孝、奥野豊. 大腸憩室症. 日本醫事新報 3475:81-82 (1990).
- 16.野崎良一*、本島昭洋、沼田裕一、秋田宏弥、赤星佳孝、奥野豊. 偶発性低体温症の臨床的検討. 日本醫事新報 3449:43-46 (1990).
- 17.野崎良一*、沼田裕一、秋田宏弥、牛島淳、春口洋賜. 経腸栄養剤(メディオエフリキッド)と腸管洗浄液(PEG-ELS)併用による大腸内視鏡検査前処置法の検討. Ther Res 12

(suppl 2) : S539-S544 (1991).

- 18.野崎良一*、橋本重正、北田英貴、古森顕一、高橋徹. 左上下肢および左顔面神経麻痺発症後、早期治療開始により独立歩行が可能となった症例. 現代医療 ; 25 (増II) : 1947 (1993).
- 19.野崎良一*、古森顕一、橋本重正、北田英貴、高橋徹、福島英夫、外牧洋之. 心臓突然死 - 特に入院精査後慢性期外来ケア中に生じた症例の臨床的検討 -. 日本醫事新報 3635 : 31-34 (1993).
- 20.野崎良一*、藤好建史、川島英敏、後藤洋恵、境優子、日隈忍、大湾朝尚、藤本直幸、高木幸一、高野正博. 当院人間ドックにおける老健法による総合健康診査の取り組みについて. 日健診誌 21 : 30-33 (1994).
- 21.野崎良一*、藤好建史. 内視鏡的摘除後に局所再発した示唆に富む大腸 sm 癌の 2 例. 消化器内視鏡 6 : 1485-1491 (1994).
- 22.菊地隆一*、高野正博、高木幸一、藤好建史、藤本直幸、江藤公則、中山慶明、野崎良一、紀伊文隆、大湾朝尚、我喜屋出、田中聡也. 虚血性大腸炎の臨床的検討と治療方針. 日本大腸肛門病会誌 47 : 23-30 (1994).
- 23.菊地隆一*、高野正博、高木幸一、藤好建史、藤本直幸、野崎良一、江藤公則、大湾朝尚、紀伊文隆、田中聡也. クロウン病のフォローアップに対する腹部超音波検査の応用. 日本大腸肛門病会誌 47 : 336-342 (1994).
- 24.大湾朝尚*、高野正博、高木幸一、藤好建史、藤本直幸、野崎良一、江藤公則、菊地隆一、紀伊文隆、田中聡也、我喜屋出、土橋展子. 経過中にアミロイドーシスを併発した兄弟発生クロウン病の 1 例. 日本大腸肛門病会誌 47 : 448-454 (1994).
- 25.田中聡也*、高野正博、藤好建史、高木幸一、藤本直幸、菊地隆一、野崎良一、江藤公則、紀伊文隆、大湾朝尚、土橋展子、黒木政純、中村文昭、眞方紳一郎. 外傷が原因と考えられた直腸壁内血腫の 1 例. 日本大腸肛門病会誌 47 : 589-595 (1994).
- 26.黒木政純*、高野正博、高木幸一、藤本直幸、野崎良一、江藤公則、紀伊文隆. 超音波カラードップラー法による内痔核の血流測定ならびに手術および痔核硬化療法の効果判定. 日本大腸肛門病会誌 47 : 1071-1077 (1994).
- 27.土橋展子*、高野正博、藤好建史、高木幸一、藤本直幸、野崎良一、菊地隆一、田中聡也、大湾朝尚. 径 9mm の大腸 ss 癌の 1 例. 日本大腸肛門病会誌 48 : 150-155 (1995).
- 28.眞方紳一郎*、高木幸一、藤好建史、藤本直幸、野崎良一、菊地隆一、黒木政純、田中聡也、高野正博. クロウン病に合併した肝膿瘍の 1 例. 日本大腸肛門病会誌 48 : 169-174 (1995).
- 29.藤好建史*、野崎良一. 大腸ポリープの自然史 - 大腸ポリープ切除の癌予防効果に関する研究 -. 日本大腸肛門病会誌 1995 ; 48 : 307-315 (1995).
- 30.大湾朝尚*、高野正博、高木幸一、藤本直幸、野崎良一、安谷屋浩. 選択的 IgA 欠損症を合併し、 γ -グリブリン療法が有効であった潰瘍性大腸炎の 1 例. 日本大腸肛門病会誌

48 : 1047-1053 (1995).

31.野崎良一*. 一般内科領域における軽症うつ病、うつ状態の取扱いについて. 日本臨床内科医会会誌 1995 ; 10 : 48-53 (1995).

32.野崎良一*、藤好建史. 胃癌スクリーニング方式の転換をめぐって—総合健診・人間ドックにおけるスクリーニング用経鼻胃内視鏡の適応—. 日本醫事新報 3712 : 43-46 (1995).

33.野崎良一、高木幸一、高野正博. 大腸集検方式の転換をめぐって—一次スクリーニングとしてのS状結腸内視鏡検査併用の有効性について—. 日本醫事新報 3726:48-54 (1995).

34.野崎良一*、高木幸一、高野正博、大湾朝尚、高山晴至、黒木政純、江藤公則. 早期大腸癌に対する内視鏡的治療の適応と限界. 自治医大紀要 18 : 127-137 (1995).

35.野崎良一*、大湾朝尚、高木幸一、黒木政純、高野正博、藤好建史. 超細径パンエンドスコープによる経鼻胃内視鏡検査. 消化器内視鏡 7 : 1593-1597 (1995).

36.野崎良一*、高木幸一、高野正博、日隈忍、四元純正、小西忠光、原田宏、黒田浩敏、山下雄介、若田真由美. 大腸がん検診における便潜血検査受診率向上へのアプローチ. 月刊地域医学 9 : 745-748 (1995).

37.野崎良一*、高木幸一、高野正博、大湾朝尚、江藤公則、黒木政純、川島英敏. 総合健診における胃・大腸内視鏡同日検診. 日健診誌 1995 ; 22 : 291-297 (1995).

38.美濃尚人*、西尾幸博、有馬浩美、伊牟田秀隆、前崎孝之、松本徹也、濱田恵美、早見公志、濱邊玲子、野崎良一、高木幸一. よりよい効果的な注腸X線検査における前処置法の検討について. Ther Res 1996 ; 17 (suppl. 2) : S375-S377 (1996).

39.大湾朝尚、野崎良一*、武地幹夫、下西智徳、船田幸宏、阿部典文、河野洋一、近間英樹、木附久雄、江藤公則、黒木政純、高木幸一、高野正博. クリップを用いた大腸ポリペクトミーの試み. Ther Res 1996 ; 17 (suppl. 2) : S572-S575 (1996).

40.野崎良一*、高木幸一、高野正博、庄しのぶ、草野聡子、富岡一美、四元純正、小西忠光. 大腸がん検診の精検受診率向上への取り組み. 九州農医誌 5 : 12-16 (1996).

41.高野正博*、島田章、辻順行、野崎良一、有働功一. 過敏性腸症候群 (IBS) の画像診断. 日本大腸肛門病会誌 49 : 213-221 (1996).

42.野崎良一*、高木幸一、高野正博、大湾朝尚、武地幹夫、江藤公則、黒木政純、川島英敏、有馬美佐子. 人間ドックの胃検診における超細径経鼻胃内視鏡とデジタルラジオグラフィ (DR) システムの有用性. 健康医学 (日本人間ドック会誌) 11 : 149-153 (1996).

43.小川明臣、野崎良一*、高野正博、高木幸一、樋高克彦、久次武晴. 免疫学的便潜血検査陰性大腸癌の特徴—S状結腸内視鏡検査併用の大腸集団検診において—. 臨床消化器内科 413-418 (1996).

44.丸山亮*、木附久雄、武地幹夫、岩川和秀、片平俊彦、野崎良一、高木幸一、高野正博. 大腸内視鏡検査にともなう偶発症としての虚血性大腸炎. 日本大腸肛門病会誌 50 : 399-404 (1997).

- 45.大湾朝尚*、野崎良一、武地幹夫、片平俊彦、高木幸一、高野正博、金城福則、斉藤厚. 多発性の大腸良性リンパ濾胞性ポリープの 2 症例. 日本大腸肛門病会誌 50 : 490-496 (1997).
- 46.大湾朝尚*、野崎良一、武地幹夫、高木幸一、高野正博、金城福則、斉藤厚. 内視鏡的超音波カラードプラ法により確信し得た下部消化管静脈瘤の 1 例. Gastroenterol Endosc 39: 1419-1424 (1997).
- 47.野崎良一*、高木幸一、高野正博、大湾朝尚、武地幹夫、片平俊彦、草野学. 留置スネアを用いた内視鏡的大腸ポリペクトミーポリペクトミー後の出血予防効果に関する検討ー. Ther Res 18 (Suppl. 2) : S409-S413 (1997).
- 48.西尾幸博*、有馬浩美、伊牟田秀隆、前崎孝之、松本徹也、濱田恵美、早見公志、濱邊玲子、美濃尚人、丸山亮、野崎良一、高木幸一、高野正博. MRI による痔瘻の画像診断. Ther Res 18 (Suppl. 2) : S461-S464 (1997)
- 49.野崎良一*、高木幸一、高野正博、大湾朝尚、武地幹夫、片平俊彦、草野学. 大腸がん検診車による S 状結腸内視鏡検診. Ther Res 18 (Suppl. 2) : S524-S530 (1997).
- 50.日高久光*、井上文孝、野崎良一. 大腸集検における偽陰性癌の検討ー逐年検診および SCS 併用により発見された偽陰性癌の分析ー. 日消集検誌 35 : 532-540 (1997).
- 51.野崎良一*、高木幸一、高野正博. 免疫便潜血検査と SCF 併用による大腸がん検診の有効性. 日本醫事新報 3820 : 41-43 (1997).
- 52.野崎良一*、前崎孝之、西尾幸博、平井裕子、田代和弘、高木幸一、高野正博. 新しい大腸食インテスクリアの臨床的検討. Ther Res 19:771-778 (1998).
- 53.富田貴美子、加納順子、本田晃子、福島ゆかり、近本 歩、吉村寛志、田代和弘、野崎良一、高木幸一、柚 源一郎*. 大腸ポリープにおける K-ras 変異の予後因子としての有用性. Biotherapy 13:589-591 (1999).
- 54.本田晃子、加納順子、富田貴美子、福島ゆかり、近本 歩、吉村寛志、田代和弘、野崎良一、高木幸一、柚 源一郎*. 大腸ポリープの遺伝子解析ー臨床応用の可能性ー. Biotherapy 13:592-594 (1999).
- 55.田島聖子、豊田裕輝子、守田則一*、野崎良一、平井裕子、高野正博、守田佳子、大槻眞. クロウン病患者の骨密度測定とその背景要因について. 消化と吸収 22:116-120 (1999).
- 56.松平美貴子*、蓮沼恭子、野崎良一、高野正博. 大腸内視鏡検査における鎮静とパルスオキシメーターの意義. 日本醫事新報 3951 : 43-46 (2000).
- 57.野崎良一*、高野正博. 検診としての効率的な大腸検査の検査間隔. 日本醫事新報 3991 : 21-25 (2000).
- 58.野崎良一*、高野正博. 便潜血検査と S 状結腸内視鏡検査を併用した大腸がん検診における効率的な検診間隔. 日本消化器集団検診学会雑誌 39:488-193 (2001).
- 59.松平美貴子*、前田亜紀、野崎良一、高野正博. 大腸内視鏡前処置法の腸管洗浄効果と被検者の受容性に関する検討ーエニマクリン・CS とマグコロール・P 等張液併用法の評価ー.

臨牀と研究 78:1177-1182 (2001).

60.野崎良一*、田中長利、多田隈奈津子、守田則一、高野正博.(4) IFOBT 以外の大腸癌一次スクリーニング法 C. 便潜血検査と S 状結腸内視鏡検査を併用した大腸癌スクリーニング. 早期大腸癌 5:179-184 (2001).

61.松平美貴子*、野崎良一、山田一隆、高野正博. 大腸内視鏡検査前処置法の腸管内洗浄効果および受容性に関する検討ーラキソベロンとマグコロール P 等張液同時併用法の評価ー. 日本大腸検査学会雑誌 19 : 127~133 (2002).

62.野崎良一*、松平美貴子、守田則一、山田一隆、高野正博. 内視鏡的摘除を行った大腸ポリープの遺伝子解析. 日本大腸検査学会雑誌 19 : 151~154 (2002).

63.野崎良一*、田中栄一、佐々木利俊、山田一隆、高野正博 (3) 内視鏡治療後追加著切除を施行し. リンパ節転移を認めた径 10mm の直腸カルチノイドの 1 例. 早期大腸癌 6:276-277 (2002).

64.野崎良一*、佐藤公治、久野三朗、山田一隆、高野正博 (4) リンパ節転移を認めた径 13mm の直腸カルチノイドの 1 例. 早期大腸癌 6:278-279 (2002).

65.緒方俊二*、山田一隆、佐藤公治、佐村博範、柴田直哉、淵本倫久、柴北宗顕、福永美津子、谷村 修、楯 英毅、村田隆二、野崎良一、高野正博. 大腸 sm 癌に対する治療戦略ー E MR か腸切除かの合理的選択ー. 外科治療 89: 347-349 (2003).

66.野崎良一*、村田隆二、山田一隆、高野正博. 大腸がん検診における精検法の比較検討ー全大腸内視鏡検査、S 状結腸内視鏡検査と注腸 X 線検査併用、注腸 X 線検査単独の比較ー. 日本大腸検査学会雑誌 20 : 37~43 (2003).

67.野崎良一*、松平美貴子、村田隆二、山田一隆、高野正博. 大腸内視鏡治療における偶発症対策. 日本大腸検査学会雑誌 20 : 44~48 (2003).

68.野崎良一*、村田隆二、山田一隆. (4) I sp 型ポリープが 4 年 11 ヶ月間で同形態の早期癌に伸展した 1 例. 早期大腸癌 7:53-54 (2003).

69.野崎良一*、村田隆二、山田一隆. (18) II 型病変が 3 年 4 ヶ月間で 2 型進行癌に伸展した 1 例. 早期大腸癌 7:93-94 (2003).

70.野崎良一*、村田隆二、谷村 修、大湾朝尚、山田一隆. (4) 便潜血検査と S 状結腸内視鏡検査併用による大腸癌スクリーニング. 早期大腸癌 8:483-488 (2004).

71.前崎孝之*、松本徹也、野崎良一、山田一隆、高野正博、伊牟田真功、山下康行. CT colonography の新しい展開. GE today January 3-8 (2004).

72.高野正博*、山田一隆、佐藤公治、緒方俊二、村田隆二、野崎良一. 痔核と痔瘻の診断と治療. 消化器内視鏡 16:167-178 (2004).

73.野崎良一*、山田一隆、高野正博. 大腸癌スクリーニングとしての効率的な免疫的便潜血検査 2 日法の受診間隔. 日本消化器集団検診学会雑誌 43:347-353 (2005).

74.松本徹也*、前崎孝之、野崎良一、山田一隆、伊牟田真功、工藤正幸. 被爆低減・超艇線量 CT colonography の臨床応用. 映像情報 Medical 37 (臨時増刊号) : 104-111 (2005).

75. 楯 英毅*、野崎良一、村田隆二、淵本倫久、山田一隆、高野正博. クロウン病小腸病変に対する multidetector-row CT による virtual endoscopy (仮想内視鏡表示) の有用性. *Gastroenterological Endoscopy* 47:2516-2522 (2005).
76. 松平美貴子*、野崎良一、松本祐子、山田一隆. 被験者の受容性からみた大腸内視鏡検査前処置の検討—マグコロール・P 等張液とニフレック・レモン風味との比較—. *新薬と臨床* 55: 18~25 (2006).
77. 谷村 修*、野崎良一、大湾朝尚、有馬俊裕、山田一隆、高野正博. クロウン病手術例における続発性アミロイドーシスの臨床的検討. *日本大腸肛門病会誌* 59: 441-447 (2006).
78. 野崎良一*、松平美貴子、山田一隆、高野正博. 大きさ 20mm 以上の大腸腫瘍に対する内視鏡治療の臨床的検討—特に分割切除の妥当性について—. *日本大腸検査学会雑誌* 23: 24~30 (2006).
79. 野崎良一*、坂田玄太郎、大湾朝尚、谷村 修、山田一隆、高野正博. 内視鏡的に摘除した大腸ポリープの遺伝子解析に基づいたサーベイランス. *消化器科* 43: 292~298 (2006).